

★★

--- a.t.s. Pacific ★ 南十字星通信 ---

(2010年8月24日号)

a.t.s. Pacific がお届けする、ニュージーランド、フィジーの
最新現地情報メールマガジンです。

★★

Kia ora ! and Bula !

平素はお世話になっております。

ニュージーランド、フィジーの a.t.s. Pacific 発信による、両ディスティネーションのアップデート情報をお届けいたします。

★★★★★★★★★★★★★★ Topics of this issue ★★★★★★★★★★★★★★

【ニュージーランド】

- ★ ホテル・オフ・ザ・スクエア・クライストチャーチ、アコー・グループより離脱
- ★ ワナカのエッジウォーター・リゾート・ホテル、エッジウォーターへと名称変更

【フィジー】

- ★ ママヌザ諸島各島からのシー・トレック&スヌーバ・シャトルのご案内
- ★ インターコンチネンタル・リゾート、日本人(日本語)スタッフ一時不在のお知らせ
- ★ エア・パシフィック航空、チェックイン時間に関する新ルールを導入

★★

★★

オークランド発 KIA ORA !

(by Bob Udatsu - Manager Japan, a.t.s. Pacific New Zealand)

★★

- ★ ホテル・オフ・ザ・スクエア・クライストチャーチ、アコー・グループより離脱

[ホテル・オフ・ザ・スクエア・クライストチャーチ \(Hotel Off The Square Christchurch\)](#) によりますと、この度同ホテルはアコー・グループより離脱し、単独経営を開始したとのことです。

- ★ ワナカのエッジウォーター・リゾート・ホテル、エッジウォーターへと名称変更

南島ワナカのエッジウォーター・リゾート・ホテルでは、この度ホテル名のマイナーチェンジを行い、「エッジウォーター」のみとなりました。

★★

ナンディ発 BULA !

(by Kenji Noda - Manager Japan, a.t.s. Pacific Fiji)

★★

- ★ ママヌザ諸島各島からのシー・トレック&スヌーバ・シャトルのご案内

当通信6月29日号にてお知らせいたしました通り、ナンディ沖のビーチコマー島にてヘルメット・ダイビングとスヌーバ・ダイビングが開始され、日本人旅行者の皆様にもご好評いただいておりますが、これまでは基本的に、ビーチコマー・アイランド・リゾートの宿泊客または本島からの日帰りクルーズ(終日または半日)参加者、および隣接のトレジャー・アイランド宿泊客に対象が限られておりましたところ、このたびのシートレック・フィジー&スヌーバ・フィジーからの連絡によりますと、マナ島、マロロ島、キャスタウェイ島、パウンティー島、およびサウスシー・アイランドからのピックアップ・サービスを開始したとのことです。これは、シー・トレック(ヘルメット・ダイビング)あるいはスヌーバ・ダイビング(いずれか必須)

を含んだ、各島からビーチコマー島への半日ツアーという形で催行され、ビーチコマー島でのランチおよび午前または午後のティーが含まれます。料金は一名につき、シー・トレック FJD139 またはスヌーバ FJD119 にそれぞれ FJD79 を加算したものと、最低催行人員 4 名とのことです。スケジュールは予約状況によって異なります。

★ インターコンチネンタル・リゾート、日本人(日本語)スタッフ一時不在のお知らせ

ナンディ国際空港から車で約 50 分のナタンドラ・ビーチにあるインターコンチネンタル・フィジー・ゴルフ・リゾート&スパで日本人ゲストを担当する鈴木しのぶ氏 (Japan Sales & Guest Relations Manager) が、8 月 29 日(日)~9 月 10 日(金)の間、海外出張のため不在となります。その後土日は定休につき出社は 9 月 13 日(月)となるそうです。つきましては同期間中は基本的に日本人(日本語)スタッフ不在となりますが、弊社にて承っておりますツアーのお客様につきましては、弊社日本語スタッフの方でもチェックインに際して平素以上に十分なご案内を心がけさせていただき、また、お困りのことがあった場合の日本語スタッフ・ホットラインもご案内しておりますのでご安心ください。

★ エア・パシフィック航空、チェックイン時間に関する新ルールを導入

このほどのフィジー国営エアライン、エア・パシフィック航空からの公式リリースによりますと、9 月 15 日(水)以降、フィジーのナンディおよびスバ(ナウソリ)の両国際空港、さらにヌクアロファ(トンガ)、アピア(サモア)、フナフチ(ツバル)、タラワ、クリスマス島(キリバス)各地空港における同社便での出発に關しまして、乗客には出発予定時刻 1 時間前までのチェックインを厳守していただくものとし、基本的にそれ以降のチェックインは受け付けないとのことです。これは、実際にチェックインを行う乗客のためにフライトが遅延しているケースが多い事実を受けての対策とのことで、同社のデイブ・プリンガー社長は、「いずれの航空会社にとっても定時運航は基本的な要求事項であり、この新たな規定は、多くの弊社フライトの遅延の原因を排除するのに有効であろう。」そして、「乗客の皆様はフライトが定時に目的地に到着することを予想している。出発 1 時間前にチェックインを締め切ることで、セキュリティや出国審査に十分な時間もないくらいギリギリになって空港に到着したごく一部のお客様のために、余裕をもってチェックインされたお客様にご迷惑をおかけすることのないようにする。」とのことです。

★★

『a.t.s. Pacific ★ 南十字星通信』

編集・発行:

a.t.s. Pacific

INBOUND TRAVEL MANAGEMENT

[a.t.s. Pacific group \(Australia, New Zealand and Fiji\)](#)

> 発行者名を記載しない転載、転送はご遠慮下さい。

> ご意見、ご要望、お問い合わせ、配信の登録・解除は配信元アドレスまで。

★★